



2019年6月号



最近の県内経済は、緩やかな回復基調に戻りつつある。

<p>個人消費</p>	<p>個人消費は、回復基調を維持。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比0.8%増と2カ月連続のプラス。百貨店が同6.0%増、スーパーが同0.4%減となった。 ・4月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比3.8%増となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同0.3%増、ドラッグストアが同5.0%増、ホームセンターが同4.7%減となった。 ・4月の乗用車販売は、登録車では普通乗用車が前年同月比19.6%増と4カ月ぶりのプラス、小型乗用車は同2.9%増と3カ月連続のプラスとなった。届出車の内、乗用車は同2.0%減と4カ月連続の前年割れとなった。この結果、乗用車の合計販売台数は同4.8%増の4,041台と4カ月ぶりのプラスとなった。
<p>住宅投資</p>	<p>住宅投資は、増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.1%増と4カ月連続のプラスとなった。持家が同6.2%増、貸家が同13.1%減、分譲住宅が同1.7%増となった。
<p>公共投資</p>	<p>公共投資は、増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の公共工事請負額は、全体で前年同月比32.8%増の301億1,400万円となり、2カ月連続のプラス。国(含む独立行政法人等)が同11.1%増、県が同29.6%減、市町村が同148.9%増となった。
<p>一次産業</p>	<p>〔農業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省の発表によると、2018年県産米の相対取引価格(2019年4月)は、「つがるロマン」が前年同月比1.0%低下の1万5,610円、「まっしぐら」が同2.2%低下の1万4,756円となった。 ・2018年県産リンゴ販売は、4月の県外出荷量が前年同月比11.3%増、消費地市場価格が同18.3%低下し、県外市場販売額は同8.4%減となった。 <p>〔漁業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比71.7%増、金額が同37.6%増となった。
<p>生産活動</p>	<p>生産活動は、足元低下。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比2.4%低下の107.4となり、2カ月連続で低下した。食料品、電気機械、鉄鋼、化学、輸送機械などが低下した。 ・原指数では、鉄鋼、食料品などが上昇したものの、電子部品・デバイス、電気機械、パルプ・紙、業務用機械などは低下し、前年同月比2.5%低下の109.4と2カ月連続で前年同月を下回った。
<p>設備投資</p>	<p>設備投資は、足元増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比98.7%増の5万9,654㎡と、再び前年同月を上回った。
<p>雇用動向</p>	<p>雇用動向は、改善している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の有効求人倍率は、1.29倍となった。前月の1.26倍を0.03ポイント上回り高水準が継続している。

一次産業

米

「つがるロマン」、「まっしぐら」ともに前年同月比低下

農林水産省が発表した「2018年産米の相対取引価格・数量(2019年4月)(速報)」によると、県産米の相対取引価格(玄米60kg当たり税込み価格)は、「つがるロマン」が前年同月比1.0%低下の1万5,610円、「まっしぐら」は同2.2%低下の1万4,756円となった。

全銘柄平均価格は1万5,777円となり、前月比0.3%上昇、前年同月比はほぼ横ばいながら、やや低下した。価格が最も高かったのは、新潟「コシヒカリ(魚沼)」2万1,528円であった。前年同月比でみると、上昇幅が大きかったのは、愛媛「ヒノヒカリ」(11.6%)、愛媛「コシヒカリ」(9.4%)、愛媛「あきたこまち」(8.9%)などであった。

● 2018年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位:円/玄米60kg税込、%)

産地	品種	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	2019年1月	19年2月	19年3月	19年4月	前月比	18年4月	前年同月比
青森	つがるロマン	14,898	14,910	15,135	15,221	14,994	15,208	14,877	15,610	4.9	15,766	-1.0
	まっしぐら	14,838	14,828	14,786	14,670	14,540	14,951	15,000	14,756	-1.6	15,082	-2.2
岩手	ひとめぼれ	15,425	15,283	15,297	15,338	15,399	15,336	15,316	15,372	0.4	15,308	0.4
宮城	ひとめぼれ	15,518	15,603	15,439	15,729	15,807	15,610	15,503	15,513	0.1	15,820	-1.9
秋田	あきたこまち	15,727	15,797	15,830	15,760	15,745	15,746	15,894	15,967	0.5	16,205	-1.5
山形	つや姫	18,268	18,356	18,265	18,257	18,364	18,521	18,512	18,311	-1.1	17,733	3.3
北海道	ななつぼし	15,740	16,003	16,035	16,103	15,925	15,749	16,131	15,944	-1.2	16,599	-3.9
北海道	ゆめぴりか	16,907	16,976	17,110	16,213	16,348	15,931	15,968	17,155	7.4	17,149	0.0
全銘柄平均価格		15,763	15,707	15,711	15,696	15,709	15,703	15,722	15,777	0.3	15,779	-0.0

資料出所:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

(注)相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)を加重平均。

りんご

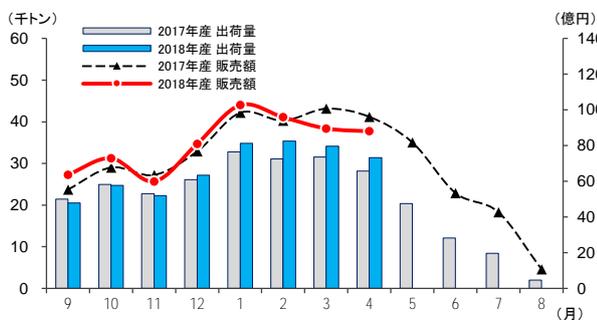
県外市場販売額、前年同月比8.4%減

2018年県産りんご販売、4月の県外出荷量は前年同月比11.3%増の3万1,397トンとなった。これは平年の4月出荷量を4.9%上回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比18.3%低下、平年比較で15.4%低下の281円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比8.4%減、平年比較では8.0%低下の88億700万円となった。

2018年産県産りんごの消費地市場価格は、果実全体の入荷量が多い中で、本県産りんごの入荷量が前年を大幅に上回ったことと、キズ果等が多かったことなどから前年及び平年より安値となった。

(注)平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

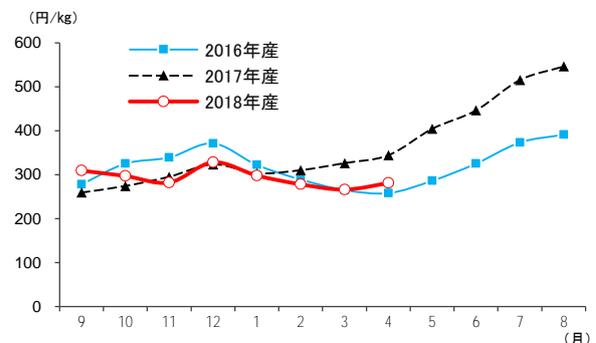
● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所:県りんご果樹課

(注)出荷量:生食用(県外市場、輸出、小口他)
販売額:小口、加工向けを除く販売額

● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所:県りんご果樹課

一次産業

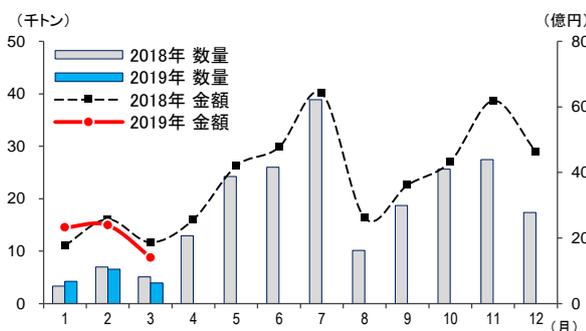
海面漁業

漁獲数量、金額ともにマイナス

3月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比23.2%減の3,914トン、漁獲金額は同24.9%減の13億9,841万円となった。前年同月に比べ、ホタテガイ（成貝）やヤリイカ等の漁獲数量が減少したことなどが影響した。

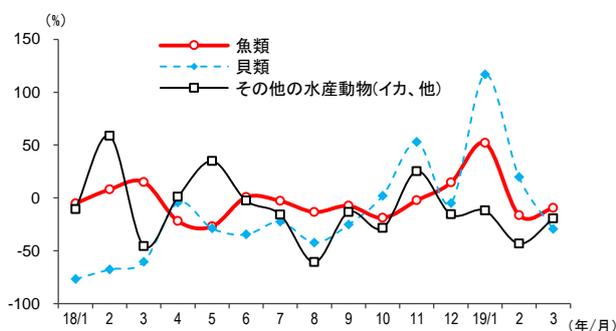
魚種別にみると、「魚類」は、サバやタラ等の水揚げが減少したことなどにより、数量が前年同月比9.7%減の1,151トン、金額は同16.8%減の3億9,191万円となった。「貝類」は、ホタテガイ（成貝）等の水揚げが減少したことなどにより、数量が同29.4%減の2,194トン、金額は同30.7%減の4億5,857万円となった。「その他の水産動物」は、スルメイカ（近海・船凍）等が不漁で、数量が同19.6%減の535トン、金額は同25.0%減の5億3,693万円となった。

● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所:青森県農林水産部

● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



資料出所:青森県農林水産部

八戸港水揚げ

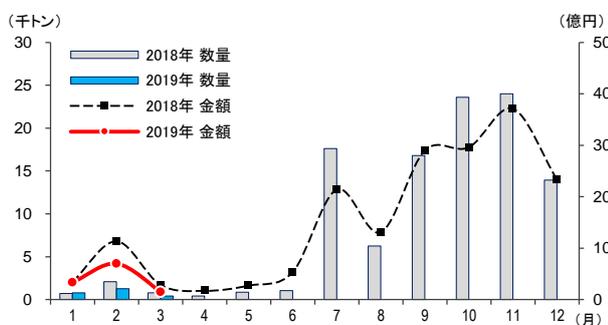
漁獲数量、金額ともにプラス

4月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比71.7%増の709トン、金額は同37.6%増の2億3,967万円となり、数量、金額ともに前年同月比プラスとなった。

イカ釣り漁は、端境期に入り水揚げはゼロとなった。大中型まき網漁も、水揚げがなかった。

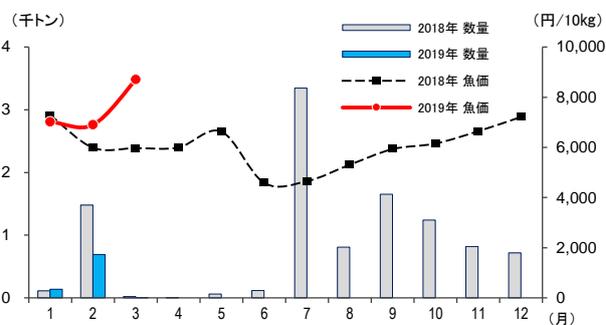
機船底引き網漁は、スケトウタラの豊漁などから、数量が同89.0%増の603トン、金額は同51.1%増の1億8,379万円となった。

● 八戸港水揚げ高



資料出所:八戸市水産事務所

● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所:八戸市水産事務所

二次産業

鉱工業生産

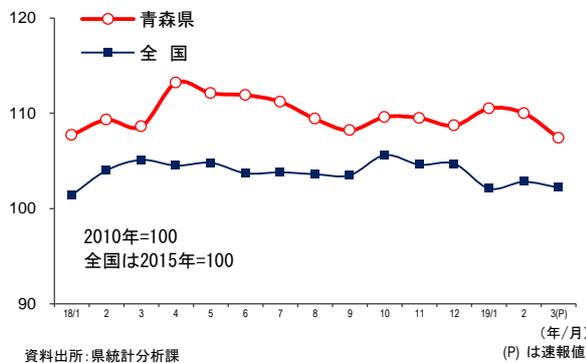
食料品、化学などが低下し、2カ月連続の低下

3月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比2.4%低下の107.4となり、2カ月連続で低下した。

主要6業種では、ウエートの大きい食料品が前月比3.8%、電気機械が同17.1%、鉄鋼が同7.3%などと低下した。そのほか化学工業が同40.5%、輸送機械が同22.8%などと低下した。一方、パルプ・紙は同10.1%、業務用機械は同6.2%、電子部品・デバイスは同3.3%上昇した。そのほか生産用機械が同61.0%上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、鉄鋼、食料品などが上昇したものの、電子部品・デバイス、電気機械、パルプ・紙、業務用機械などは低下し、前年同月比2.5%低下の109.4と2カ月連続で前年同月を下回った。

● 鉱工業生産指数



● 業種別生産指数 (2019年3月)

業 種 ()内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原 指 数	
	2010年 =100	前月比 (%)	2010年 =100	前年同 月比(%)
鉱 工 業 (10,000.0)	107.4	△ 2.4	109.4	△ 2.5
食 料 品 (2,410.0)	104.7	△ 3.8	103.4	2.8
鉄 鋼 (1,200.9)	111.0	△ 7.3	111.5	14.7
電子部品・デバイス (1,048.2)	142.7	3.3	132.8	△ 20.2
業務用機械 (1,005.1)	120.1	6.2	124.1	△ 2.5
パルプ・紙 (722.3)	84.8	10.1	87.0	△ 8.4
電気機械 (429.2)	103.6	△ 17.1	106.1	△ 12.3

資料出所: 県統計分析課

設備投資

建築物着工床面積(民間非居住用)、再びプラス

4月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比98.7%増の5万9,654㎡となり、再び前年同月を上回った。

用途別着工床面積をみると、製造業、鉱業、建設業用が前年同月比709.3%増の2万5,276㎡、教育、学習支援業用が同187.1%増の5,547㎡、農林水産業用が同171.2%増の1万33㎡、運輸・通信業用が同127.6%増の4,377㎡などと増加した。

一方、卸・小売業用は同68.4%減の1,454㎡、医療、福祉用は同49.0%減の3,193㎡などと減少した。

● 建築物着工床面積(民間非居住用)



● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2019年4月 (㎡)	2018年4月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	10,033	3,699	171.2
製造業、鉱業、建設業用	25,276	3,123	709.3
卸・小売業用	1,454	4,598	△ 68.4
運輸・通信業用	4,377	1,923	127.6
教育、学習支援業用	5,547	1,932	187.1
医療、福祉用	3,193	6,260	△ 49.0
その他のサービス業用	5,305	4,628	14.6
他に分類されない建築物他	4,469	3,857	15.9
合 計	59,654	30,020	98.7

資料出所: 県建築住宅課

二次産業

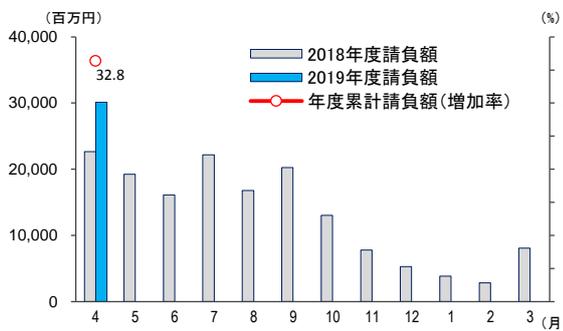
公共工事

県が減少するも、国・市町村が増加、2カ月連続プラス

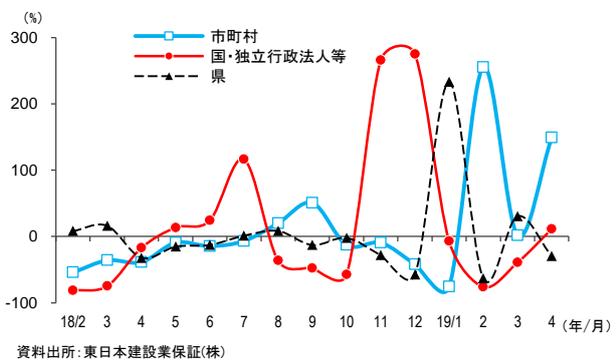
4月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比32.8%増の301億1,400万円となり、2カ月連続のプラスとなった。

発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)は、農林水産省などが増加し、同11.1%増の14億9,300万円となった。県は県土整備部などが減少し、同29.6%減の93億5,200万円となった。市町村は、青森市や東北町などで減少したものの、八戸市や十和田市などで増加し、同148.9%増の161億4,100万円となった。

公共工事請負額



発注主体別・月別請負額の推移(前年同月増加率)



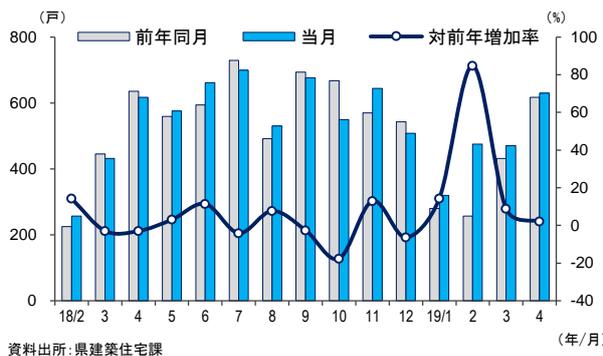
住宅着工

新設住宅着工戸数、4カ月連続プラス

4月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比2.1%増の630戸となり、4カ月連続プラスとなった。利用関係別では、持家が同6.2%増、貸家が同13.1%減、給与住宅が同100.0%減、分譲住宅が同1.7%増となった。

地域別にみると、全体では黒石市やむつ市などで減少したものの、青森市や五所川原市などで増加した。持家は、黒石市や板柳町などで減少したものの、八戸市や五所川原市などで増加した。貸家は、青森市やおいらせ町などで増加したものの、黒石市や八戸市などで減少した。給与住宅は青森市と深浦町で減少した。分譲住宅は、三沢市やおいらせ町などで減少したものの、八戸市や黒石市などで増加した。

新設住宅着工戸数



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	2019年 4月	2018年 4月	前年 同月比
持家	478	450	6.2
貸家	93	107	△ 13.1
給与住宅	0	2	△ 100.0
分譲住宅	59	58	1.7
総戸数	630	617	2.1

資料出所: 県建築住宅課

三次産業

百貨店・スーパー販売

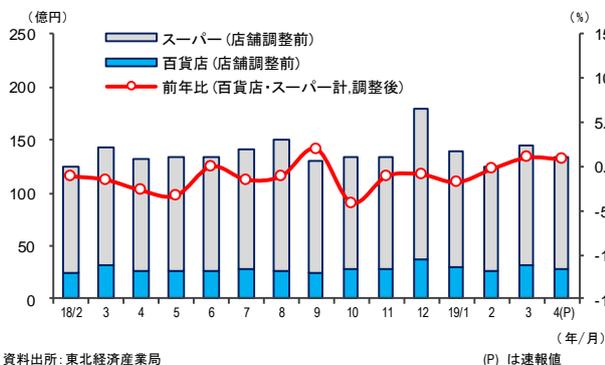
2カ月連続のプラス基調

4月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、既存店)は、一部百貨店の全館休業セールが奏功した他、新元号記念等のセールや催事が好調だったことなどから、前年同月比0.8%増と2カ月連続でプラスとなった。

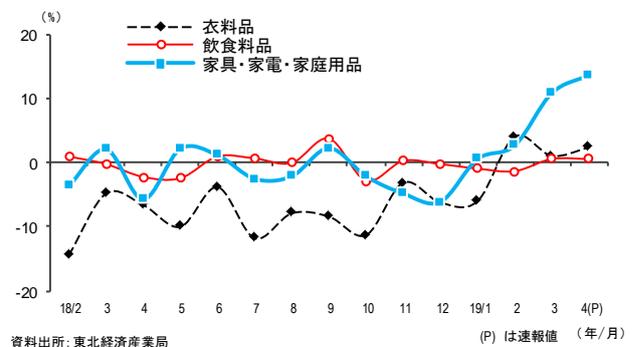
業態別では、百貨店が休館セールおよび催事が奏功し前年同月比6.0%増、スーパーは主力の飲食料品が好調だったものの、他商品が不冴えな動きだったことから同0.4%減と、業態で明暗を分ける結果となった。

品目別では、最もボリュームの大きい飲食料品は百貨店が同1.1%増、スーパーが同0.5%増となり、全体では同0.6%増となった。また、家具・家電・家庭用品は、休館セールに加えエアコンの好調が持続していることなどから、同13.7%増と好調だったほか、衣料品も紳士服、婦人・子供服ともに動きがみられ、全体では同2.4%増と好調だった。

百貨店・スーパー販売動向



品目別売上高(既存店、増加率)



各種小売業態販売額

ホームセンターを除く3業態 前年比プラス

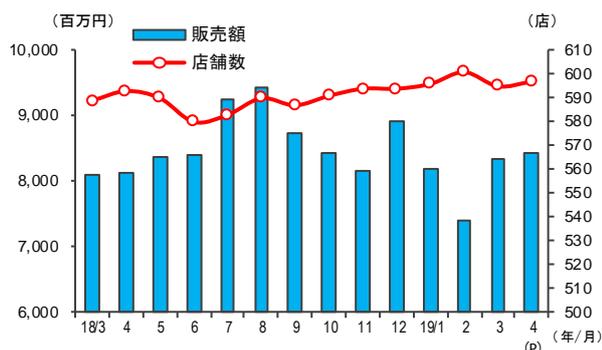
4月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストアで前年比プラスとなった一方、ホームセンターでは2カ月連続のマイナスとなった。

コンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比3.8%増の84億3,200万円と6カ月連続のプラスとなった。なお、店舗数は前月比2店増の597店となった。

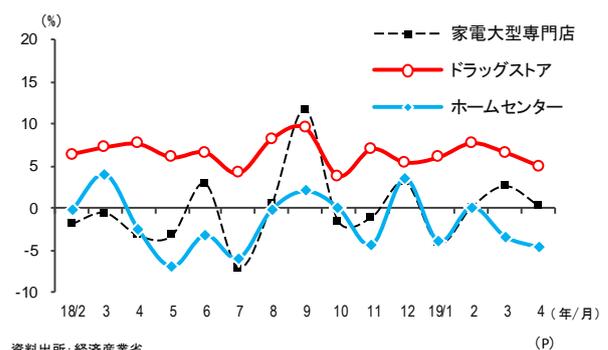
その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)では、家電大型専門店が、引き続きパソコンや新型エアコンの動きが活発で、同0.3%増と3カ月連続のプラスとなった。また、ドラッグストアは医薬品、化粧品類が好調だったほか、食料品需要を中心に他業態からの取込みが持続しており、同5.0%増とプラス基調を維持している。一方、ホームセンターは季節商品である園芸関連用品の動きが鈍かったことなどから前年同月比4.7%減と2カ月連続でマイナスとなった。

(注) 本項はすべて速報値である。

コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



三次産業

自動車販売

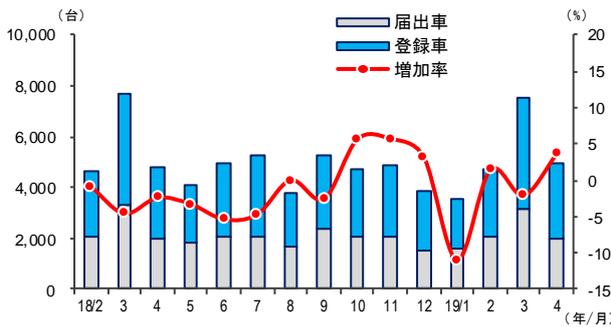
乗用車販売台数、4カ月ぶりプラス

4月の自動車販売台数は、届出車(軽自動車)が前年同月比0.8%減と2カ月連続の前年割れとなったものの、登録車は同6.7%増と3カ月連続のプラスを計上した。この結果、新車販売合計は同3.6%増の4,971台と再びプラスに転じた。

内訳別にみると、登録車は普通乗用車が前年同月比19.6%増と4カ月ぶりのプラス、小型乗用車が同2.9%増と3カ月連続のプラスとなった。一方、届出乗用は同2.0%減と4カ月連続の前年割れとなった。この結果、乗用車の登録・届出車合計販売台数は同4.8%増の4,041台と4カ月ぶりにプラスとなった。

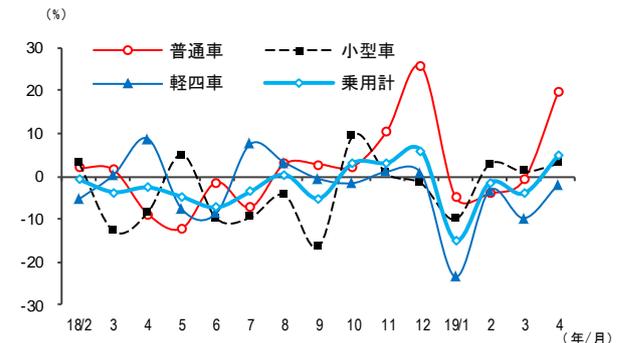
なお、登録貨物車は同7.4%減と6カ月ぶりのマイナス、届出貨物車は同2.4%増と3カ月連続のプラスとなっている。

● 自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

● 乗用車販売動向(増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

観光動向

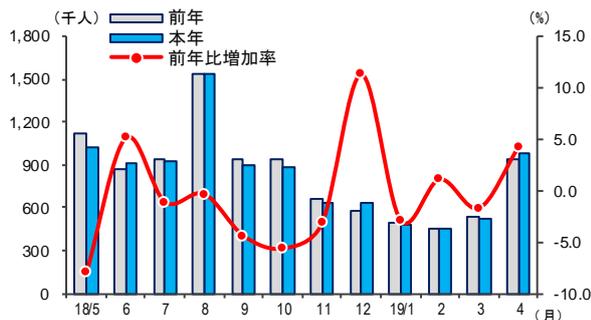
観光施設入込数、宿泊者数ともに前年比プラス

4月の県内観光動向は、観光施設入込数、宿泊者数ともに前年比プラスとなった。

県内観光施設35カ所の入込数は、前年同月比4.2%増の98万94人と、再びプラスとなった。施設別では、浅虫水族館(前年同月比18.4%増)、弘前市立観光館(同22.3%増)、太宰治記念館「斜陽館」(同15.0%増)などで二桁プラスとなった他、多くの施設でプラスとなった。

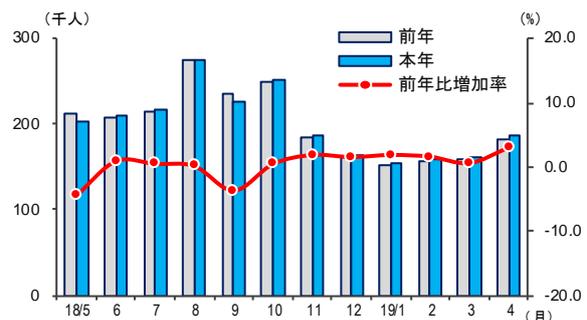
また、県内79施設の宿泊者数は、前年同月比3.0%増の18万6,781人と、7カ月連続でプラスとなった。地域別では、八戸市内(18施設)が同14.0%増の4万2,180人、上北地域(9施設)が同6.9%増の3万3,637人、西北地域(10施設)が5.4%増の1万9,184人とプラス計上した。一方、青森市内(12施設)が同8.5%減の2万7,109人、弘前市内(17施設)が0.5%減の4万8,209人、下北地域(むつ市内含む13施設)が1.0%減の1万6,462人と前年割れとなった。

● 県内35施設入込数(12月までは34施設)



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

● 県内79施設宿泊者数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

物価・雇用・金融

消費者物価指数

前月比 0.1%上昇、被服及び履物など上昇

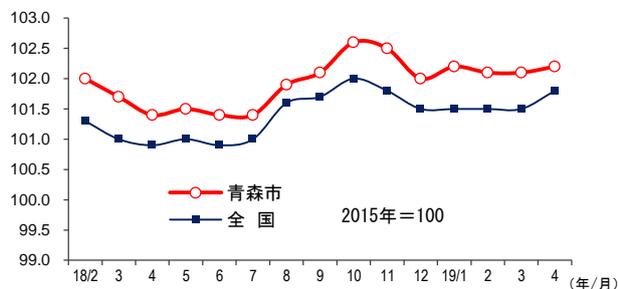
4月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は、前月比0.1%上昇、前年同月比0.8%上昇の102.2となった。

主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」がシャツ・セーター・下着類の値上がりなどにより2.4%上昇、「家具・家事用品」が家事用消耗品や家庭用耐久財などの値上がりなどにより1.4%上昇、「住居」が家賃の値上がりにより0.4%上昇、「保健医療」が医薬品・健康保持用摂取品の値上がりにより0.3%上昇した。一方、ウエートの大きい「食料」は、生鮮果物などの値下がりにより0.2%低下、「交通・通信」は、繁忙月だった前月に比べ交通費が値下がりし0.5%低下、「光熱・水道」は電気代の値下がりにより0.2%低下した。

前年同月比では、「交通・通信」(△0.4%)、「保健医療」(△0.1%)が下落したものの、「光熱・水道」(2.6%)、「家具・家事用品」(2.3%)、「教養娯楽」(1.5%)、「被服及び履物」(1.3%)などで上昇した。

生鮮食品を除く総合指数は、前月比0.1%上昇、前年同月比0.8%上昇の102.2となった。

消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

費目別指数の動き(2019年4月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	102.2	0.1	0.8
生鮮食品を除く総合指数	102.5	0.1	0.8
食料	103.8	△0.2	0.2
住居	100.5	0.4	0.7
光熱・水道	103.8	△0.2	2.6
家具・家事用品	103.0	1.4	2.3
被服及び履物	103.9	2.4	1.3
保健医療	102.4	0.3	△0.1
交通・通信	98.7	△0.5	△0.4
教育	102.9	0.2	0.1
教養娯楽	102.8	0.1	1.5
諸雑費	103.4	0.3	1.5

資料出所: 県統計分析課

雇用動向

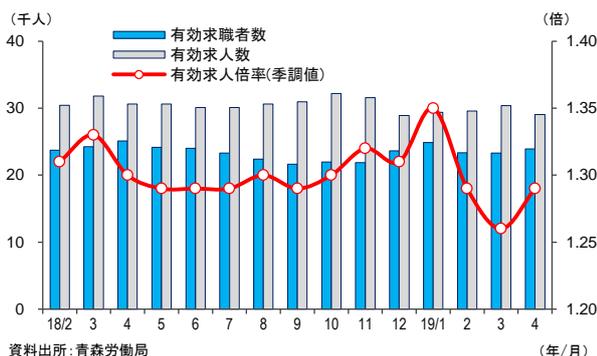
有効求人倍率 1.29 倍、前月を 0.03 ポイント上回る

4月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比5.0%減の2万9,074人、有効求職者数は同4.7%減の2万3,930人となった。有効求人倍率(季節調整値)は1.29倍となり、前月を0.03ポイント上回った。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比2.1%減、臨時・季節求人数が同15.0%減、パート求人数が同15.7%減となり、全数では同8.1%減の1万480人となった。新規求人倍率(季節調整値)は1.82倍となり前月を0.08ポイント上回った。

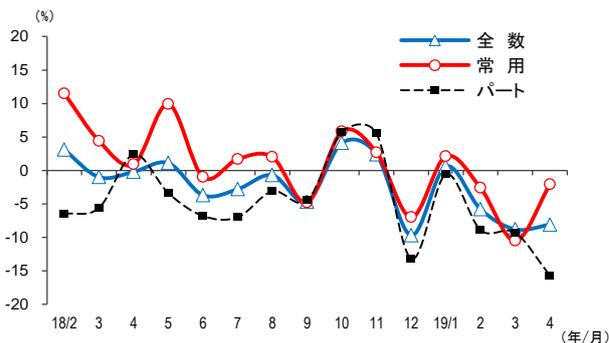
主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、建設業、卸売業、医療業で増加がみられたものの、製造業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、社会保険・社会福祉・介護事業など幅広い業種で減少した。

有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

物価・雇用・金融

企業倒産

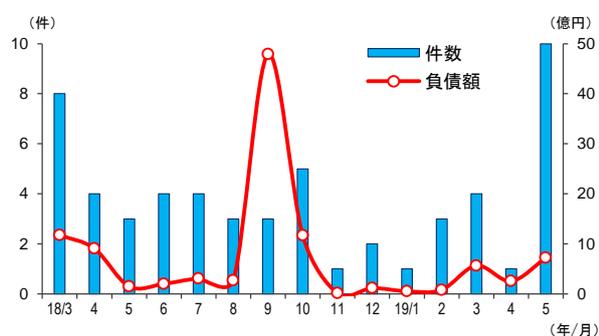
倒産件数、5年1カ月ぶりに2桁発生

5月の県内企業倒産は、件数が10件、負債総額が7億2,100万円となり、前年同月比で件数が7件増、負債総額が5億7,300万円増だった。前月比では件数が9件増、負債総額が1億5,600万円増となった。件数は、2014年4月以来、5年1カ月(61カ月)ぶりに2桁発生を記録した。負債総額は、1億円以上の倒産は1件に留まったものの、小規模な倒産の増加により前年及び先月を上回った。長年、業況が低迷していた企業の息切れ倒産が本格化している。

地区別では青森市、弘前市、八戸市が各2件、むつ市、つがる市、下北郡、南津軽郡が各1件の発生だった。業種は建設業と小売業が各3件、製造業、卸売業、金融・保険業、不動産業が各1件だった。原因は販売不振が5件、既往のシワ寄せが4件、放漫経営が1件だった。

なお5月の従業員被害者数は45人となり、1月からの累計では92人となった。

● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

● 業種別・原因別件数 (2019年5月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	1
建設業	3	過小資本	
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業	1	既往のシワ寄せ	4
小売業	3	信用低下	
金融・保険業	1	販売不振	5
不動産業	1	売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他		その他	
合計	10	合計	10

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

金融動向

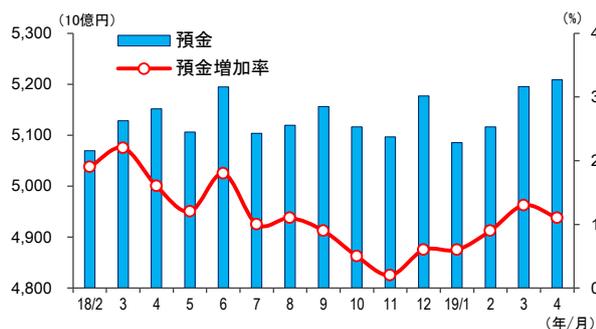
預金、貸出金とも72カ月連続のプラス

4月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高は、実質預金が前年同月比1.1%増の5兆2,084億円、貸出金は同0.5%増の3兆485億円とそれぞれ増加した。

預金は、個人預金、法人預金の増加から前年を上回り、72カ月連続のプラスとなった。預金全体のプラス幅は前月比0.2ポイント低下した。

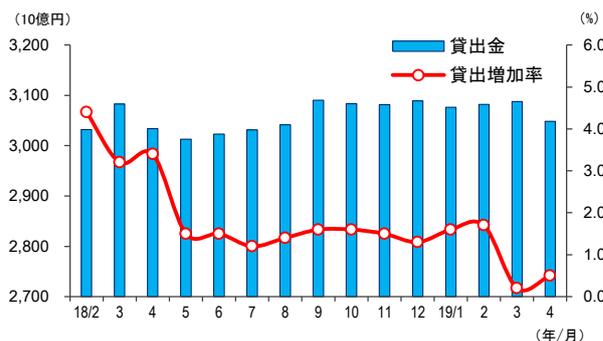
貸出金は、概ね横ばいながら、前年をやや上回り、72カ月連続のプラスとなった。貸出金全体のプラス幅は前月比0.3ポイント増加した。

● 預金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

● 貸出金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

国内景気

概況

—国内景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している—
個人消費は持ち直している。設備投資はこのところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。住宅建設は概ね横ばい。公共投資はこのところ底堅い動きとなっている。輸出は弱含んでいる。貿易・サービス収支は、概ね均衡している。生産はこのところ弱含んでいる。企業収益は高い水準で底堅く推移している。企業の業況判断は製造業を中心に慎重さがみられる。倒産件数は概ね横ばい。雇用情勢は着実に改善。国内企業物価と消費者物価はこのところ緩やかに上昇。

百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 1.8%減—
4月の百貨店・スーパー販売額は1兆5,351億円(速報)となり、既存店ベースでは前年同月比1.8%減となった。業態別にみると、百貨店が同1.5%減、スーパーが同1.9%減となった。商品別にみると、衣料品が同5.0%減、飲料品が同0.2%減、その他商品が同2.8%減となった。

住宅建設

—前年同月比 5.7%減、5カ月ぶりの減少—
4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比5.7%減の7万9,389戸と5カ月ぶりに減少した。利用関係別では、持家が同9.2%増と7カ月連続の増加、貸家が同16.7%減と8カ月連続の減少、分譲住宅が同6.0%減と9カ月ぶりの減少となった。

企業倒産

—4月では30年間で2番目に少ない倒産件数—
4月の企業倒産は、件数が前年同月比0.8%減の645件、負債総額は同12.0%増の1,069億1,600万円となった。倒産件数は4月としては5年連続で前年を下回り、過去30年で2番目に少ない件数であった。負債総額は、4月としては、2年ぶりに前年を上回り再び1,000億円台に乗せた。大型倒産の2件の発生などに起因するが、引き続き小・零細規模の倒産が全体の7割以上を占めている。

為替動向

—5月末終値 108円77銭—
5月の東京外国為替市場は米中貿易摩擦への懸念を背景に前月末比1.02円高の110.65円でスタート。中旬は、109円台後半の小幅な値動きに終始した。下旬は、一時貿易摩擦警戒への懸念が薄まる展開もあったが、再び世界的な景気減速懸念が広がり円買い優勢の展開となった。月末終値は108円77銭。

鉱工業生産指数

—生産は一進一退、前月比0.6%上昇の102.8—
4月の鉱工業生産指数は前月比0.6%上昇の102.8(速報、季節調整値)となった。原指数は前年同月比1.1%低下の100.6となった。前月比では自動車、生産用機械、輸送機械(除.自動車)などが上昇し、はん用・業務用機械、電子部品・デバイス、無機・有機化学などは低下した。基調判断は「生産は一進一退」と上方修正した。なお5月は輸送機械(除.自動車)、生産用機械、はん用・業務用機械などの上昇により前月比5.6%上昇を予測している。

新車販売(除く軽自動車)

—2カ月連続で減少、前年同月比0.5%減—
4月の国内新車販売は前年同月比0.5%減の23万954台と2カ月連続で減少した。乗用車が同1.1%減、貨物車が同4.0%増となった。乗用車は普通乗用車が同1.4%増と再び増加、小型乗用車は同4.1%減と5カ月連続の減少となった。

完全失業率

—完全失業者数、再び前年比減—
4月の完全失業率(季節調整値)は、前月比0.1ポイント低下の2.4%となった。完全失業者数は前年同月比4万人減の176万人となり、再び減少に転じた。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比4万人減の21万人、自己都合が同2万人増の75万人などとなった。

消費者物価指数

—前年同月比0.9%上昇の101.8—
4月の消費者物価指数は総合指数が前年同月比0.9%上昇、前月比(季節調整値)0.1%上昇の101.8となった。前年同月に比べ、外食、電気代、ガス代、ルームエアコン、ガソリン、外国パック旅行費などが上昇し、携帯電話通話料などは下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比0.9%上昇、前月比(季節調整値)0.1%上昇の101.8となった。

国際収支

—経常収支、前年同月比9.5%減—
4月の経常収支額は前年同月比9.5%減の1兆7,074億円となった。貿易収支が赤字に転化したことから、黒字幅を縮小した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が4,109億円の赤字、第一次所得収支が2兆1,303億円の黒字、第二次所得収支が120億円の赤字となった。

県内

4/19 2040年の本県世帯数 2割減

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年の本県の世帯数は2015年比19.8%減少の409,000世帯と、減少幅は秋田県の22.6%に次ぐ大きさとなった。また、65歳以上の高齢者が世帯主となる割合は全体の53.6%と、秋田県に次ぐ高さとなった。

4/26 台湾のエバー航空、今秋週5往復運航へ

県の発表によると、青森—台北を7月から週2往復することが決まっているエバー航空が、新たに11月から翌年3月の冬期間に週5往復運航することを決定した。これにより、本県の冬季観光の活性化が期待される。

5/4 本県子どもの数、前年比4,000人減

「こどもの日」を前に総務省が発表した2018年10月1日時点における本県の子ども(15歳未満)の人口は、前年比4,000人減の13万7,000人となった。また、人口に占める子どもの割合は10.8%で、秋田県の10.0%に次ぐ低さとなった。

5/7 弘前さくらまつりの人出、史上2番目を記録

弘前さくらまつり本部の発表によると、会期中(4月20日～5月6日)の人出は289万人に達し、最多となった2008年の292万人に次ぐ史上2番目を記録した。

5/13 今年3月の県内高校卒業者の就職内定率 98.8%

青森労働局によると、今年3月に県内高校を卒業した生徒の就職内定率(3月末時点)は98.8%と、記録が残る1994年以降では5番目の高さとなった。また県内大学を卒業した学生の就職内定率は97.6%で、過去2番目の高さとなった。

5/16 2018年産リンゴ、結果樹面積減少

農林水産省の発表によると、2018年産リンゴの本県結果樹面積は前年比1%減少の1万9,800haとなり、3年連続で2万haを下回った。

国内

5/4 子ども人口 38年連続減少

「こどもの日」を前に総務省が発表した4月1日時点の推計人口によると、15歳未満の子どもの人口は前年比18万人減の1,533万人となり、比較可能な1950年以降では過去最少を記録した。また、子どもの人口減少は38年連続となる。

5/13 景気動向指数、景気の判断 6年ぶり悪化

内閣府が発表した3月の景気動向指数(速報値)は景気の現状を示す一致指数が前月比0.9ポイント低下の99.6となった。3カ月単位の推移などから機械的に判断する基調判断は「悪化を示している」と下方修正した。

5/14 2018年度経常黒字、5年ぶり減少

財務省が発表した2018年度の国際収支(速報)によると、海外との貿易やサービスなどの取引状況を示す経常収支は、前年度比12.4%減の19兆4,144億円の黒字となった。なお、経常黒字額の減少は5年ぶり。

4月の街角景気、回復力に欠く動き

内閣府が発表した4月の景気ウォッチャー調査によると、足元の景況感を示す現状判断指数(季節調整値)は45.3と前月比0.5ポイント上昇したものの、前月の2年8カ月ぶりの低水準からの回復力には欠ける動きとなった。

5/20 2019年1-3月期GDP、2期連続プラス

内閣府によると、2019年1-3月期のGDP(季節調整値・速報値)は、物価変動を除く実質で前期比0.5%増、年率換算では2.1%増となり、2四半期連続でのプラス成長だった。

5/25 5月の月例経済報告、基調判断を再び下方修正

内閣府は、5月の月例経済報告で「景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している」とし、基調判断を前月に続いて下方修正した。

全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券発行高 (平均残高) (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	景気動向 指数(一致) 2015年=100	国内企業 物価指数 2015年=100	消費者 物価指数 2015年=100	鉱工業 生産指数 2015年=100	機械受注 (季調済) (億円)	公共工事 請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2014 (H26)	930,818	660,844	461,147	1.180	-	102.4	99.2	101.2	96,920	165,257
2015 (H27)	984,300	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	100.0	100,891	149,257
2016 (H28)	1,024,612	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	100.0	102,600	154,200
2017 (H29)	1,067,165	763,244	505,238	0.946	-	98.7	100.4	103.1	101,431	157,209
2018 (H30)	1,103,625			0.901	-	101.3	101.3	104.1	105,091	144,020
2018 (H30) 2	1,033,046	765,194	503,840	0.940	103.4	100.3	101.3	104.0	8,887	11,322
3	1,037,590	778,344	509,158	0.932	103.3	100.2	101.0	105.1	8,587	20,591
4	1,039,157	785,533	508,285	0.929	104.1	100.6	100.9	104.5	9,171	8,381
5	1,040,264	783,957	506,612	0.927	103.9	101.1	101.0	104.8	9,063	8,924
6	1,037,681	781,870	510,149	0.921	103.4	101.3	100.9	103.7	8,348	12,565
7	1,044,800	773,451	509,569	0.918	102.9	101.8	101.0	103.8	9,128	12,098
8	1,046,482	772,577	508,515	0.917	102.9	101.8	101.6	103.6	9,754	12,715
9	1,045,699	776,734	512,171	0.912	101.9	102.0	101.7	103.5	8,100	15,216
10	1,047,072	774,577	509,514	0.912	103.9	102.4	102.0	105.6	8,720	13,066
11	1,050,606	779,129	511,618	0.909	102.2	102.1	101.8	104.6	8,714	10,238
12	1,077,249	779,084	515,480	0.901	101.1	101.5	101.5	104.7	8,692	10,737
2019 (H31) 1	1,079,375	776,081	512,080	0.900	99.7	100.9	101.5	102.1	8,223	10,843
2	1,066,271	776,595	512,069	0.898	100.5	101.2	101.5	102.8	8,367	10,291
3	1,072,160			0.891	99.4	101.5	101.5	102.2	8,688	23,228
4	1,087,111					P 101.8	101.8	P 102.8	9,137	8,921
前月比 %	1.4	0.1	-0.0	-0.007* イト	-1.1ポイント	0.3	0.1	0.6	5.2	-61.6
前年同月比%	4.6	1.5	1.6	-0.041* イト	-	1.2	0.9	-1.1	2.5	6.4
資料出所	日本銀行			内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省	

※日銀券発行高の年次は年末残高の数値

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅 着工戸数 (戸)	新車登録 届出数 (乗用車) (千台)	百貨店・ スーパー 販売額 (億円)	企業倒産		完全 失業率 (季調済) (%)	国際収支 (経常) (億円)	東京 外為相場 (月中平均) (円/US\$)	日経 平均株価 (東証1部 225株 柄) (円)	日経 商品指数 (月末42種) 1970年=100
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2014 (H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	39,215	105.79	17,450.77	183.036
2015 (H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	165,194	121.09	19,033.71	160.852
2016 (H28)	967,237	4,146	195,979	8,446	20,061	3.1	213,910	108.77	19,114.37	168.833
2017 (H29)	964,641	4,386	196,025	8,405	31,676	2.8	226,067	112.13	22,764.94	184.488
2018 (H30)	942,370	4,391	195,998	8,235	14,855	2.4	192,222	110.40	20,014.77	180.684
2018 (H30) 2	69,071	402	14,565	617	900	2.5	21,365	107.82	22,068.24	186.434
3	69,616	563	16,381	789	1,327	2.5	31,858	106.00	21,454.30	184.314
4	84,226	305	15,565	650	955	2.5	18,865	107.43	22,467.87	186.501
5	79,539	308	15,664	767	1,044	2.2	18,951	109.69	22,201.82	186.685
6	81,275	375	16,030	690	2,195	2.4	12,115	110.03	22,304.51	185.395
7	82,615	369	17,002	702	1,127	2.5	20,269	111.37	22,553.72	184.270
8	81,860	302	15,751	694	1,213	2.4	18,237	111.06	22,865.15	183.405
9	81,903	404	15,135	621	1,842	2.3	18,437	111.89	24,120.04	184.781
10	83,330	347	15,862	730	1,176	2.4	13,163	112.78	21,920.46	184.792
11	84,213	357	16,437	718	1,213	2.5	8,211	113.37	22,351.06	182.523
12	78,364	320	20,825	622	818	2.4	4,644	112.45	20,014.77	180.684
2019 (H31) 1	67,087	342	16,322	666	1,684	2.5	P 6,004	108.95	20,773.49	180.567
2	71,966	401	14,345	589	1,955	2.3	P 26,768	110.36	21,385.16	183.091
3	76,558	533	16,552	662	971	2.5	P 28,479	111.21	21,205.81	183.632
4	79,389	315	P 15,351	645	1,069	P 2.4	P 17,074	111.66	22,258.73	183.527
前月比%	3.7	-40.9	-0.2	-2.6	10.1	-0.1* イト	-	0.4	5.0	-0.1
前年同月比%	-5.7	3.3	-1.8	-0.8	12.0	-0.1* イト	-9.5	3.9	-0.9	-1.6
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ		総務省	財務省	日本銀行	日本経済新聞社	

※百貨店・スーパー販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		銀行券 受払高 (支払-受入) (億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産 (負債額1,000万円以上)	
	(人)	社会動態 (人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2014 (H26)	1,321,895	-6,448	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,308,265	-6,278	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,293,681	-5,906	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2017 (H29)	1,278,581	-5,722	3,073	51,283	30,828	110.3	177,167	71,311	44	8,926
2018 (H30)	1,262,815	-5,820	3,292			109.9			44	9,426
2018 (H30) 2	1,274,939	-426	199	50,693	30,319	109.7	4,231	2,445	5	145
3	1,273,573	-5,681	236	51,283	30,828	108.6	7,041	4,305	8	1,176
4	1,266,889	637	365	51,515	30,338	113.2	22,681	13,280	4	905
5	1,266,707	-44	122	51,063	30,130	112.1	19,264	3,233	3	148
6	1,265,852	-164	327	51,947	30,232	111.9	16,142	6,696	4	201
7	1,264,951	-18	258	51,037	30,316	111.2	22,174	5,956	4	305
8	1,264,201	235	242	51,197	30,412	109.4	16,791	5,066	3	269
9	1,263,717	-193	198	51,565	30,906	108.2	20,239	10,662	3	4,788
10	1,262,815	113	381	51,165	30,833	109.6	13,024	4,722	5	1,167
11	1,262,049	-36	294	50,968	30,814	109.5	7,807	2,557	1	13
12	1,261,169	-147	701	51,768	30,892	108.7	5,293	754	2	114
2019 (H31) 1	1,260,124	-111	-110	50,854	30,765	110.5	3,864	1,329	1	51
2	1,258,753	-586	239	51,165	30,820	111.0	2,855	902	3	80
3	1,257,081	-5,772	275	51,955	30,877	P 107.4	8,063	5,616	4	565
4	1,250,444	856	637	52,084	30,485		30,114	9,352	1	254
5	1,250,387	-74	-74						10	721
前月比 %	-0.0	-	-	0.2	-1.3	-2.4	273.5	66.5	900.0	183.9
前年同月比%	-1.3	-	-	1.1	0.5	-2.5	32.8	-29.6	233.3	387.2
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ			

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値、社会動態の年次は前年10月から当年9月まで、月は月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

年次及び月	新車登録 台数(台)	乗用車 登録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (㎡)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額(円) (青森市)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与 総額(円)	総実労働 時間(時間)
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575,085	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	585,836	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	650,614	99.5	265,004	252,236	152.5
2017 (H29)	33,776	46,625	6,509	3,703	2,234	651,725	100.5	269,221	262,558	155.5
2018 (H30)	32,856	45,769	6,431	3,813	1,901	655,052	101.9	274,905		
2018 (H30) 2	2,602	3,787	257	144	82	25,098	102.0	234,628	219,193	150.8
3	4,329	6,098	432	237	106	44,337	101.7	260,689	226,566	152.9
4	2,782	3,855	617	450	107	70,734	101.4	311,470	219,702	155.3
5	2,253	3,228	576	362	149	59,074	101.5	242,376	224,782	151.5
6	2,906	3,941	662	408	180	69,475	101.4	297,775	333,277	159.1
7	3,186	4,249	699	356	233	68,023	101.4	296,007	273,443	157.6
8	2,106	2,931	530	347	164	54,516	101.9	285,168	242,868	152.6
9	2,897	4,128	676	386	240	66,814	102.1	271,568	228,024	153.1
10	2,666	3,684	550	340	153	56,817	102.6	254,477	224,763	158.1
11	2,746	3,634	644	355	216	62,561	102.5	283,832	237,535	157.9
12	2,321	2,974	508	275	171	50,466	102.0	309,005	439,416	152.9
2019 (H31) 1	1,966	2,773	320	161	107	30,057	102.2	289,682	226,406	140.4
2	2,630	3,729	475	169	262	40,133	102.1	268,675	222,455	144.8
3	4,375	5,852	470	252	177	44,579	102.1	374,056	228,090	148.1
4	2,969	4,041	630	478	93	75,535	102.2	277,800		
前月比 %	-32.1	-30.9	34.0	89.7	-47.5	69.4	0.1	-25.7	2.6	2.2
前年同月比%	6.7	4.8	2.1	6.2	-13.1	6.8	0.8	-10.8	0.8	-3.1
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア 販売額 (百万円)	家電大型 専門店 販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホーム センター 販売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/kg)	産地価格 (円/kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	306	222	99,312	23,436
2017 (H29)	169,344	99,007	26,738	51,086	51,254	262,705	335	214	99,972	19,990
2018 (H30)	168,037	100,902	26,675	54,561	50,377				108,192	18,120
2018 (H30) 2	12,450	7,079	1,781	4,052	2,845	31,089	310	236	2,095	1,136
3	14,309	8,098	2,629	4,187	3,774	31,541	326	242	807	290
4	13,238	8,122	1,872	4,561	4,934	28,206	344	305	413	174
5	13,467	8,370	1,842	4,468	4,802	20,398	404	-	860	276
6	13,461	8,411	1,972	4,601	4,168	12,095	446	-	1,072	538
7	14,164	9,256	2,676	4,804	4,472	8,411	515	-	17,619	2,142
8	15,079	9,448	2,170	4,883	4,559	1,991	546	-	6,250	1,311
9	13,097	8,743	2,154	4,588	3,863	20,512	309	216	16,799	2,899
10	13,308	8,420	1,982	4,606	4,151	24,718	297	253	23,592	2,961
11	13,418	8,167	2,044	4,450	4,266	22,322	282	219	24,003	3,711
12	17,941	8,920	2,902	4,925	5,142	27,152	328	174	13,954	2,336
2019 (H31) 1	13,855	8,181	2,539	4,753	3,265	34,827	298	169	787	334
2	12,409	7,404	1,783	4,366	2,847	35,404	278	163	1,294	700
3	14,461	8,329	2,697	4,463	3,644	34,136	266	151	427	149
4	P 13,349	P 8,432	P 1,877	P 4,760	P 4,701	31,397	281	255	709	240
前月比 %	-	1.2	-30.4	6.7	29.0	-8.0	5.6	68.9	66.0	60.4
前年同月比%	0.8	3.8	0.3	5.0	-4.7	11.3	-18.3	-16.4	71.7	37.6
資料出所							県りんご果樹課		八戸市水産事務所	

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー 調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)		
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-
2016 (H28)	1.13	1.57	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-
2017 (H29)	1.27	1.75	-	9,049	5,701	22,860	123,846	160,929	-	-
2018 (H30)	1.30	1.82	-	8,791	6,945	31,401	115,235	220,012	-	-
2018 (H30) 1	1.31	1.79	8,752	1,346	410	3,046	9,399	12,930	51.3	-11.2
2	1.31	1.82	6,381	808	512	2,858	10,487	12,532	-	
3	1.31	1.80	5,690	711	929	3,120	12,511	10,510	-	
4	1.30	1.77	5,569	669	417	2,310	7,372	16,235	48.2	-6.2
5	1.29	1.77	6,406	824	404	1,725	7,843	56,840	-	
6	1.29	1.79	5,928	678	759	3,767	12,709	13,247	-	
7	1.29	1.78	6,302	720	533	2,023	9,001	18,454	47.8	-16.3
8	1.30	1.82	6,479	791	555	1,307	6,144	12,812	-	
9	1.29	1.81	5,393	589	667	4,435	11,353	17,657	-	
10	1.30	1.74	5,417	639	860	2,456	11,830	14,730	44.3	0.0
11	1.32	1.88	5,141	595	175	2,966	12,424	18,916	-	
12	1.31	1.79	5,347	596	726	1,432	4,163	14,943	-	
2019 (H31) 1	1.35	1.99	8,193	1,268	322	3,629	10,106	15,430	46.7	-13.0
2	1.29	1.78	6,143	794	348	3,077	9,135	10,632	-	
3	1.26	1.74	5,269	628	229	1,942	15,503	14,782	-	
4	1.29	1.82	5,505	673	899	6,306	8,097	15,277	47.8	-
前月比 %	0.03ポイント	0.08ポイント	4.5	7.2	292.6	224.7	-47.8	3.3	1.1ポイント	-13.0ポイント
前年同月比%	-0.01ポイント	0.05ポイント	-1.1	0.6	115.6	173.0	9.8	-3.6	-	-
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署				県統計分析課	青森銀行

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設 入込客数 (人)	宿泊者数 (人)	青森空港乗 降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南
2014 (H26)	9,881,300	1,498,169	903,389	13,559	374,463	487,827	505,045	-	-	-
2015 (H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,298	373,938	518,399	462,499	-	-	-
2016 (H28)	9,885,612	1,512,154	1,061,995	14,904	378,634	535,657	459,793	-	-	-
2017 (H29)	9,980,972	2,359,381	1,137,982	15,396	377,619	553,031	486,259	-	-	-
2018 (H30)	9,935,874	2,384,592	1,172,886	16,565	381,907	534,367	491,088	-	-	-
2018 (H30) 1	493,375	152,548	79,516	1,553	27,784	34,272	32,662	-7.1	-19.7	-8.6
	2	452,756	155,914	77,524	1,221	25,949	34,030			
	3	531,632	159,757	89,866	1,537	25,747	36,180			
4	940,196	181,362	94,237	1,244	29,616	48,459	37,000	-4.7	-22.6	5.0
	5	1,037,231	203,820	99,214	1,317	32,557	44,991			
	6	917,450	209,003	99,593	1,179	32,881	45,722			
7	934,215	219,043	101,852	1,488	33,330	45,951	42,928	-18.0	-29.6	-2.5
	8	1,547,248	274,365	125,183	1,842	45,360	62,396			
	9	907,260	226,657	104,980	1,168	34,973	47,950			
10	887,527	251,418	110,976	1,482	42,597	55,266	47,083	3.5	-1.5	-2.5
	11	643,703	187,733	104,042	1,265	26,723	41,188			
	12	643,281	162,972	85,903	1,269	24,390	37,673			
2019 (H31) 1	479,267	155,396	86,981	1,610	24,429	32,161	36,705	-8.3	-24.6	-8.6
	2	457,901	158,426	81,277	1,411	24,259	34,254			
	3	523,721	160,677	102,033	1,493	22,737	36,368			
4	980,094	186,781	95,074	1,231	27,109	48,209	42,180	-	-	-
前月(期)比%	87.1	16.2	-6.8	-17.5	19.2	32.6	7.5	-11.8%	-23.1%	-6.1%
前年同月(期)比%	4.2	3.0	0.9	-1.0	-8.5	-0.5	14.0	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県民生活文化課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内35施設合計

※宿泊者数は県内79施設合計 (2016年以前は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設)

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)			
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	
2014 (H26)	290,646	178,279	232,860	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197	
2015 (H27)	287,648	177,411	231,257	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395	
2016 (H28)	284,754	175,900	229,527	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463	
2017 (H29)	282,032	174,287	227,778	8,324	4,119	7,049	1,718	1,075	1,519	
2018 (H30)	279,133	172,447	225,463	8,288	3,783	6,695	1,479	1,069	1,441	
2018 (H30) 2	281,405	174,001	227,321	566	324	497	33	36	78	
	3	281,130	173,821	227,090	1,168	575	760	157	57	83
	4	279,278	172,500	225,836	685	294	636	145	98	108
5	280,088	173,016	225,821	534	258	474	146	90	84	
	6	279,902	172,910	225,816	731	332	573	159	96	181
	7	279,646	172,807	225,724	894	346	650	134	139	178
8	279,461	172,694	225,647	551	239	446	104	121	96	
	9	279,387	172,550	225,597	715	368	599	163	105	181
	10	279,133	172,447	225,463	626	302	564	140	78	116
11	279,033	172,339	225,407	682	265	613	127	126	114	
	12	278,897	172,208	225,249	668	260	434	110	67	143
	2019 (H31) 1	278,650	172,087	225,140	416	269	418	86	51	85
2	278,299	171,902	224,983	628	372	561	130	40	90	
	3	277,962	171,643	224,771	1,146	622	813	111	94	101
	4	276,180	170,508	223,720	798	300	633	181	90	114
5	276,823	170,863	223,822							
前月比%	0.2	0.2	0.0	-30.4	-51.8	-22.1	63.1	-4.3	12.9	
前年同月比%	-1.2	-1.2	-0.9	16.5	2.0	-0.5	24.8	-8.2	5.6	
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課			

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値。